

事業所名

そらまめがらすみゅー

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

5 月

1 日

法人（事業所）理念		「つながる・ひろがる・未来へ」 子どもたちが自分らしく成長し、社会とつながる力を育むことを大切にします。 安心できる環境の中で挑戦する楽しさを知り、未来へと羽ばたく力を養います。 また、保護者や関係機関と連携しながら、子どもたちの成長を総合的にサポートします。							
支援方針		コミュニケーションと社会性を育む 感情のコントロールと自己表現を支援 成功体験を重ね、自己肯定感を高める 保護者支援と関係機関との連携を大切にする							
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり		
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	目標:子どもたちが健康な生活習慣を身につけ、自己管理ができるようになる。 基本的な生活習慣:生活リズム（睡眠、食事、排泄）の確立を目指し、定期的に健康チェックや生活指導を行う。手洗いなどの衛生習慣を習得。 健康管理:適切な運動や休養を取り入れ、体調管理の重要性を理解させる。							
	運動・感覚	目標:子どもたちが体を動かす楽しさを学び、運動能力や感覚の発達を促す。 運動技能の発達:基本的な運動（歩く、走る、ジャンプなど）や、遊びを通じて運動能力を高める。鉛筆やハサミなどの道具を使う練習を通じて、手先の器用さや協調性を育む。 感覚刺激:音や触覚、視覚など、さまざまな感覚を刺激する活動（砂遊び、色水遊び、音楽活動など）を通じて感覚統合を促進。 体のバランス感覚:平均台、バランスボードなど、体幹を鍛える運動を取り入れ、身体の使い方を学ぶ。							
	認知・行動	目標:子どもたちが認知能力を高め、適切な行動や自立心を育む。 問題解決能力の向上:パズルや積み木遊びを通じて論理的思考や創造的な問題解決能力を伸ばす。視覚や聴覚を使って情報を整理する活動（迷路や絵合わせなど）を行う。 社会的ルールの理解:自分の行動が他者にどのように影響するかを学び、規則を守る大切さを理解させる。挨拶や順番待ちなど、基本的な社会的マナーを身につける。 自己管理能力:自分の行動や感情をコントロールする力を育むため、短い時間の集中活動（ぬりえ、短時間のアナログゲームなど）を実施。							
	言語 コミュニケーション	目標:子どもたちが自分の思いや気持ちを言葉で表現し、他者との円滑なコミュニケーションを取れるようになる。 言語発達の支援:絵本の読み聞かせや物語を通じて、語彙力を増やす。質問に対して自分の意見や考えを言葉で表現する練習を行う。 非言語コミュニケーション:身振りや表情、ジェスチャーを使って感情を表現する力を養う。コミュニケーションボードを使って表現方法を豊かにする。 対話能力:グループでの会話やロールプレイを通じて、聞き手としてのスキルや返答力を育てる。自分の気持ちや意見を伝える活動を行い、社会に必要なコミュニケーション力を高める。							
	人間関係 社会性	目標:子どもたちが友達と協力して遊び、社会でのルールを理解し、他者との良好な関係を築けるようになる。 集団での活動:共同作業やグループ遊びを通じて、協力する力を育む。役割分担をした遊びやチーム活動を行い、社会性やチームワークを体験する。 共感力の育成:他の子どもたちの気持ちを理解し、共感する力を養う。自分の気持ちと相手の気持ちを大切にするための絵本やストーリーを取り入れる。 問題解決力の向上:友達とのトラブルを解決する方法を学び、適切な方法で対話や協力を通じて問題を解決する練習を行う。							
家族支援		目標:保護者と協力し、子どもたちの成長と一緒に支えるための支援を提供する。 保護者への情報提供:子どもたちの発達状況や支援内容について、定期的な面談や報告を行う。発達段階に応じた育児のアドバイスや支援方法を共有し、家庭での支援を促進。 保護者の悩みや不安へのサポート:保護者が抱える育児や支援に関する悩みに対して、相談窓口を提供し、個別のサポートを行う。			移行支援		目標:子どもたちが次の段階へ円滑に移行できるよう、教育・社会生活に必要な準備を整える。 学校・就学前施設との連携:子どもたちの進学先や就学前施設と事前に情報を共有し、支援内容や特別な配慮が必要な点を伝える。進学に向けた支援を、個別に計画して実施。 個別の移行プラン:子ども一人ひとりに応じた移行プランを作成し、生活スキルや社会スキルの強化を行う。移行時期における心理的なサポートを提供する。		
地域支援・地域連携		目標:地域のリソースを活用し、地域全体で子どもたちの支援を行う環境を整える。 地域連携の強化:地域の医療機関や福祉サービス、学校、自治体との連携を深め、子どもたちの支援に必要なリソースを提供。地域の発達支援に関わる専門家とのネットワークを構築し、協力して支援を行う。			職員の質の向上		目標:職員が専門的な知識とスキルを高め、質の高い支援を提供できるようにする。 定期的な研修を定期的に実施。他の支援者（教育・医療・福祉）とのネットワーキングや連携のための外部研修参加を奨励。 個別のキャリア支援:職員個々のキャリアパスに応じた支援を行い、自己成長の機会を提供。 職員同士の情報共有:定期的なスタッフミーティングを設け、支援方法やケースの振り返りを行い、情報を共有する場を提供。		
主な行事等		消防訓練、防災訓練 製作イベント お別れの会							